

企画展 えん しゅう ふ まい 遠州・不昧と大名家の茶

The Tea Utensils of Kobori Enshū, Matsudaira Fumai, and Other Feudal Lords

2021年4月3日(土)～6月13日(日)

※会期中展示替えがあります



中之島香雪美術館は、2021年4月3日(土)より、企画展「遠州・不昧と大名家の茶」を開催いたします。

公益財団法人香雪美術館が所蔵する多種多様な美術品の多くは、朝日新聞社の創業者である村山龍平(1850～1933)が収集したものです。村山は茶の湯に傾倒し、茶道具を収集して茶会を開きました。本展ではそのなかから、現代で言うところの近畿の行政・司法長官である伏見奉行を務めた、近江小室藩主の小堀遠州(1579～1647)と、出雲松江藩主の松平不昧(1751～1818)という、茶の湯に傾倒した大名が所持した作品や、彼らの好みを反映した作品を中心に展示します。また、仙台藩主伊達家などの大名が秘蔵していた茶道具も併せて、計約70点を紹介します。

第1章 古田織部と小堀遠州 – 大名茶の始まり –

「侘び茶」を完成させた千利休（1522～91）が没した後、徳川将軍家の茶道指南役として茶の湯の世界をリードした古田織部（1543～1615）は、質素を旨とする利休の好みとは真逆の、歪みを伴う力強い造形の茶道具を好みました。織部没後は、その弟子である小堀遠州（1579～1647）が、茶の湯の世界を牽引します。遠州は、師の織部とは異なる端正で洗練された造形の茶道具を好みました。江戸時代に大名たちの間で行われた茶の湯は、「大名茶」と呼ばれています。本章では大名茶の草創期を担った織部や遠州の手になる花入・茶杓・書状、および彼らの好みが反映された茶道具をご紹介します。



① 小堀遠州 唐竹花入（江戸時代前期 17世紀）



② 吉州窯 梅花天目（南宋時代 12～13世紀）

第2章 片桐石州と金森宗和 – 大名茶の継承と展開 –

大和小泉藩主の片桐石州（1605～73）は、四代将軍徳川家綱（1641～80）から御道具奉行を拝命した際に、茶法を撰述した『石州三百ヶ条』を献上したとされています。金森宗和（1584～1657）は、飛騨高山藩主金森可重（1558～1615）の嫡男として生まれましたが、父との不和から廃嫡されて京都に隠棲し、茶人として生涯を送りました。宗和は京都の陶工野々村仁清の御室焼を積極的に茶会で用い、大名たちに斡旋しました。加賀藩前田家筆頭家老の本多政長（1631～1708）は、宗和および仁清の最大の顧客の一人でした。本章では石州と宗和に関連する道具を紹介します。

③ 野々村仁清 色絵忍草文茶碗
（江戸時代前期 17世紀）④ 野々村仁清 色絵花唐草文鱗形香合
（江戸時代前期 17世紀）

第3章 松平不昧 – 雲州蔵帳と古今名物類聚 –

出雲松江藩主の松平不昧^{まつだいら ぶまい}（1751～1818）は、窮乏していた藩財政の再建を推進し、8万両も蓄財できるほど回復させました。不昧はこの好転を期に、若年から嗜んでいた茶の湯に傾倒し、道具を精力的に収集しました。その所蔵品台帳である『雲州蔵帳』^{うんしゅうくらちょう}には、計839点もの道具が記載されています。また不昧は、「陶斎尚古老人」^{とうさいしやうころうじん}のペンネームで、自身や諸大名が所蔵する名物道具の図や付属品情報を記載した『古今名物類聚』^{ここんめいぶつるいじゅう}を編纂・刊行します。本展では、『雲州蔵帳』と『古今名物類聚』に記載される当館所蔵の作品全点（書画は前後期で展示替え）を公開します。



⑤ 朝鮮 割高台茶碗 長束割高台（朝鮮時代 16世紀）



⑥ 原羊遊斎 菊蒔絵大棗（文化14年〈1817〉）

第4章 伊達綱村と溝口直諒 – 数寄大名の収集 –

遠州・不昧の他にも、茶の湯に傾倒した大名がいました。陸奥仙台藩主伊達綱村^{だて つなむら}（1659～1719）は、片桐石州に茶の湯を学んだ清水動閑^{しみずどうかん}（1614～91）を召し抱え、藩祖政宗以来伊達家に伝わる道具のみならず、新たに自身で収集した道具を用いて茶会を開きました。現在1,000を超える茶会の記録が残されています。不昧と親交の深かった江戸の町人数寄者である吉村観阿^{よしむらかん あ}（1765～1848）は、不昧没後に越後新発田藩主溝口直諒^{しほた みぞぐちなおあき}（1799～1858）と親交を深め、様々な道具を仲介しました。本章では伊達家と溝口家旧蔵の道具をまとめて紹介します。



⑦ 瀬戸 肩衝茶入 銘 堪忍（江戸時代前期 17世紀）



⑧ 中山胡民 鶴亀蒔絵香合（江戸時代後期 19世紀）

作品画像貸出一覧



1



2



3



4



5



6



7



8

1 小堀遠州 唐竹花入 (江戸時代前期 17世紀)

2 吉州窯 梅花天目 (南宋時代 12～13世紀)

3 野々村仁清 色絵忍草文茶碗 (江戸時代前期 17世紀)

4 野々村仁清 色絵花唐草文鱗形香合 (江戸時代前期 17世紀)

5 朝鮮 割高台茶碗 長束割高台 (朝鮮時代 16世紀)

6 原羊遊斎 菊蒔絵大棗 (文化14年〈1817〉)

7 瀬戸 肩衝茶入 銘 堪忍 (江戸時代前期 17世紀)

8 中山胡民 鶴亀蒔絵香合 (江戸時代後期 19世紀)

開催概要

会 期	2021年4月3日(土)～6月13日(日)
展示替え	前期：4月3日(土)～5月9日(日) 後期：5月11日(火)～6月13日(日)
休 館 日	月曜日<5月3日(月・祝)は開館、5月6日(木)は休館>
開館時間	10時～17時(入館は16時30分まで)
夜間特別開館	2021年4月15日(木)、5月13日(木)、6月10日(木) ～19時30分(入館は19時まで)
料 金	一般900(700)円、高大生500(350)円、小中生200(100)円 *()内は前売り(一般のみ)、20名以上の団体料金 *前売り券は4月2日まで香雪美術館(御影本館)、中之島香雪美術館、 フェスティバルホール・チケットセンターで販売しています
主 催	公益財団法人 香雪美術館、朝日新聞社
会 場	中之島香雪美術館 530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 フェスティバルタワー・ウエスト4階 TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/ Twitter@kosetsu_museum
アクセス	Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋」駅4号出口、京阪中之島線「渡辺橋」駅12号出口直結 Osaka Metro 御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅7号出口より徒歩約8分 JR「大阪」駅桜橋口より徒歩約15分 JR東西線「北新地」駅11-5出口より徒歩約8分
講 演 会	「継承される茶の湯－近世大名とその周辺」 講師： ^{きづか くにこ} 木塚 久仁子さん(土浦市立博物館副館長)
【日 時】	2021年5月15日(土) 14時～15時30分(受付開始13時30分)
【会 場】	中之島会館(中之島香雪美術館隣)
【参加料】	500円(展覧会観覧には別途入館料が必要)
【定 員】	120名(予定)
【応募開始】	3月1日(月)
【応募方法】	1通で2名様まで応募可能。希望する講演名、参加希望人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記ください。
メール	以下アドレス宛にお申し込みください。詳細を返信します。 E-mail : n-kouenkai@kosetsu-museum.or.jp (※左記アドレスを受信可能に設定してください)
往復ハガキ	郵送でご応募ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所氏名をご記入ください。 返信ハガキで参加証を郵送します。 【宛先】〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階 中之島香雪美術館「遠州・不昧と大名家の茶」展 講演会係

FAX: 06-6210-4190

取材・写真使用申込書

中之島香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

(西暦) 年 月 日

取材について

取 材 者	フリガナ	フリガナ
	会社名	担当者名(連絡者)
	住所 〒	TEL
		FAX
	E-mail	取材人数 名
取材希望日時	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
媒 体	種別 <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> その他()	
	番組名・コーナー名	
放送・発行日等	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
取材の範囲	撮影 <input type="checkbox"/> する (撮影機材 <input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ENG <input type="checkbox"/> DVC) <input type="checkbox"/> しない	
備 考	特に取材したい場所・内容等	

写真使用について

プレス用写真一覧をご確認の上、希望画像番号をご明記ください。

作 品 画 像	中之島香雪美術館 館 内 画 像
---------	---------------------

注 意 事 項

- ・企画書など概要がわかる書類の提出をお願いいたします。
- ・原稿および記事については貴メディアへ御掲載前に中之島香雪美術館広報担当宛に確認のためお送りくださいますようお願いいたします。
- ・掲載後は掲載誌等の送付をお願いしております。
- ・画像の名称(作品名)、指定、展示期間、所蔵元、クレジット(ある場合)を記載してください。
- ・サイズは、(web掲載用)長辺1000px 100dpi (紙媒体用)長辺1000px 300dpi まで。
- ・ウェブ掲載の場合、掲載期間を最長6ヶ月とし、その後は削除をお願いします。それ以上の期間掲載をご希望の方は、再度ご連絡ください。

報道関係のお問い合わせ

「中之島香雪美術館」 広報担当

TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 Email n-kouhou@kosetsu-museum.or.jp
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4階